

子どものもっている力を発揮できる条件とは

園長 原田健次

空の雲、風の匂いにそろそろ秋の気配を感じるようになってきましたが、日中はまだまだ残暑の日々が続いています。

今年の夏も全国各地で突然の集中豪雨や大型の台風に見舞われ、多くの方が被害にあわれました。亡くなった方のご冥福を祈ると共に心より早い復興をお祈りいたします。

さて、今回のおたよりでは、子どもたちが生き生きと活動でき、もっている力を十分に発揮できる条件とは何かを保護者の皆様と考えていきたいと思えます。

子どもが心の中に残る感動体験をするには、まずは大人がきちんと環境条件（生活環境と運動環境）と人的条件（人の関わり）を整え・提供することが大切ではないかと考えます。

ここで気をつけないといけないことがあります。それは、大人はついつい自分の感情にまかせ、良かれと思う「正解」を先に言うてしまうことがあります。そのことは、大人の思いの押し売りをする事になるので気をつけてください。「正解なのか不正解なのか」「やりたいのかやりたくない」「きれいと思うか思わない」など、これらを決めるのは子ども自身です。（注・子どものいいなりになることではありません）

1. 安心できる生活環境 （生活環境条件）

生活リズムの大切さは前回までのおたよりでお知らせさせていただきました。「太陽と地球のリズム」が子どもの身体の成長にとって大切な「生活リズム」です。朝の目覚めは、光刺激を採り入れて目覚めること。そして、日中にはしっかり陽光を浴びて体温を上げ、汗をしっかりかく習慣をつくることで身体の成長を促しています。本園でも特に「午後あそび」の充実に力を入れて、しっかり汗をかくことを大切にしています。

そして、疲れた身体にたっぷりの栄養が入ったおいしいご飯を家族で楽しく食べ、就寝前にはテレビ・ビデオの光刺激を断ち切り、脳を休めた状態で寝る環境をつくってあげたいですね。



2. 視覚的に理解できる運動環境（運動環境条件）

子どもに、自分の持っている力を発揮させるための必要な要素は、わかりやすい言葉による指示や説明だけでは不十分です。具体的な目安（見通し）を設定すること、それが視覚的にもインプットされていくものであれば、より効果があると言えます。簡単に言えば「見本」です。見本になるのは年上のお兄ちゃんおねえちゃん、また、大人（親、先生）です。特に大人の存在が大切です。一緒にお片づけを楽しんだり、休日には屋外に出て一緒に遊んで、遊びの見本を見せてあげてください。そして、心がワクワクするような経験をしてください。



3. 人とのかかわりのある環境（人的条件）

子どもが感動体験をするには、大人（親、先生）も一緒に遊ぶことも大切です。基本となる遊びや運動の仕方を、かつてのガキ大将のように、実際に見本を見せてあげてください。そして、子どもが自発的に動き、発展しだしたら、遊びの主導権を子どもへ移し、子どもだけでも遊びが広がるよう見守ることも大切です。



幼少期の感動体験は大人になった時には忘れていくかも知れませんが感動する心は育まれています。大人になっても感動体験は人生を豊かにします。どうぞ親として子どもの感動体験をたくさん一緒にしてください。